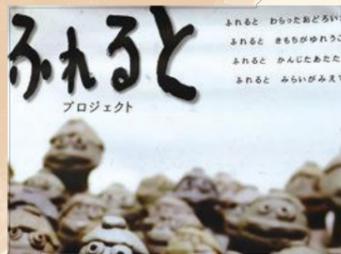


# 教室はミュージアム!

～ アール・ブリュット魅力発信事業「ふ・れ・る・とプロジェクト」～



やまなみ工房に通う方が制作された「アール・ブリュット作品」を通じて障がいへの理解を深める機会とする『ふ・れ・る・とプロジェクト』

が市内23の小中学校で行われました。

12月5日(月)、信楽小学校では同工房副施設長の早川弘志さんから「本当の障がいとは、社会や人の心の中に壁を作ってしまうことだと思います。そのために、みんなが障がいのことを知ってください。」とお話がありました。

展示室で児童たちは作品を前に、「すごい!」「小さい目や鼻が描いてある!」など、個性的なアート作品とふれあいました。



個性豊かな作品を鑑賞する児童▲



教室でやまなみ工房について話を聞く児童▲

## 個性的なアール・ブリュット作品をもう一度

「ふれるとプロジェクト」に参加した児童・生徒の皆さんからの作品へのメッセージや、やまなみ工房の作品を展示します。

- 日時 2月3日(金)～5日(日) 10時～17時
- 場所 あいこうか市民ホール展示室

やまなみ工房の作品をはじめ、みんなが描いた作品も展示するので、ぜひ来てね!

●問合せ：あいこうか市民ホール(月曜休館) **Tel** 62-2626 **Fax** 62-2625

知っとうか!  
公立甲賀病院

第10回

## 認知症について知っとうか

副院長・脳神経内科主任部長 小河 秀郎



◎認知症は増えているのですか?

日本では増えています。認知症にも大きく影響する因子は年齢で、85歳以上では4人に1人が認知症と言われています。高齢化が進む日本では認知症が増えるのは見当然のようですが、欧米では認知症が減っているという報告もあります。認知症の危険因子として年齢以外に、糖尿病、高血圧などの生活習慣病が深く関わっていることが知られており、生活習慣病克服に取り組んだ欧米で認知症が減ってきているのではないかと考えられています。

◎認知症はそもそもどのような病気なのですか?

認知症を起す疾患は多種類あり、最も多いのがアルツハイマー病です。脳の中にアミロイドというたんぱく質が加齢とともに蓄積し、記憶や判断に重要な脳神経がこれにより死滅していくため認知症が生じると考えられる疾患です。その他にも、脳梗塞や脳出血などにより脳の大事な部分が障害されて生じる血管性認知症や、αシヌクレインというたんぱく質が

脳に蓄積して生じるレビー小体型認知症などが知られています。

◎認知症は治らないのですか?

脳に水がたまる水頭症、甲状腺機能低下症やビタミン欠乏症などの内分分泌疾患による認知症、薬の影響による認知機能低下、一見認知症に見えるてんかん等は、早めに治療すれば治ることが期待できます。当院ではこのような疾患の早期診断治療に努めています。

また現在、4種類の抗認知症薬があります。いずれも認知症の進行を遅らせる効果がありますが、根本治療ではありません。デイサービス利用の方が抗認知症薬より進行予防効果が高いことが知られており、薬と介護サービスを併用していくことが最も良い治療法と考えられます。

認知症になっても不自由のない地域を作るのが大切で、甲賀湖南地域では当院認知症疾患センター、介護福祉施設などが「認知症になっても住みよい地域」を目指し連携を強化しています。

問合せ 公立甲賀病院 総務企画課 **Tel** 62-0234(代) **Fax** 63-0588

### 情報交流広場

今月号は、伊賀市、甲賀市、亀山市 共通の記事です。

## となりまち



三重県伊賀市、滋賀県甲賀市、三重県亀山市の3市の魅力を体感できる「いこか」連携イベントを開催しました!

### 朝活!いこかの鉄道遺産群を巡るウォーク

11月12日(土)、3市の鉄道遺産群を巡るウォーキングイベントを開催し、33人が参加しました。参加者は、亀山市と伊賀市をつなぐJR関西本線や甲賀市の信楽高原鉄道などを乗り継ぎながら、周辺の鉄道遺産を巡りました。



### いこかトレイルイベント2022 伊賀霊山へいこか!

11月26日(土)、登山を楽しみながら山々の自然に親しむトレイルイベントを開催し、23人が参加しました。絶好の登山日和の中、山頂からの景色を眺めながら昼食を楽しむなど、参加者は霊山の豊かな自然を満喫していました。



【いこか】問合せ  
 ●秘書広報課 **Tel** 22-9636  
 ●甲賀市秘書広報課 **Tel** 0748-69-2101  
 ●亀山市広報秘書課 **Tel** 0595-84-5021

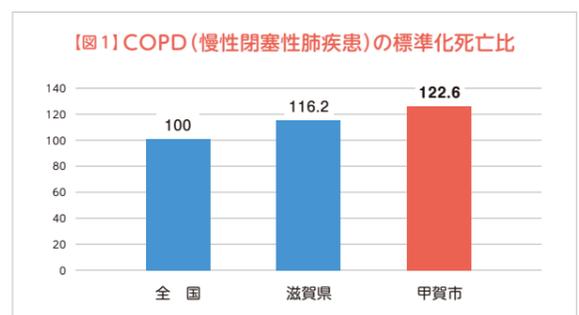


## 知っていますか? COPD(シーオーピーディー)



### COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは?

肺の機能が低下し、呼吸困難を招く病気です。風邪などの感染症にかかると急激に悪化します。治療しないまま放置すると重症化し、酸素吸入が必要になるなど、生活に支障をきたしてしまいます。



出典：滋賀県の死因統計解析 2008～2017より  
 ※全国を100として比較したもの。  
 数値が大きいほど、その地域の死亡状況が悪いことを意味する。

★男性に多い病気  
 男性患者が多いことが特徴です。また、この疾患で亡くなる本市の男性の死亡率は、県と比較して高い状況です【図1】。

★たばこが最大の原因!  
 患者の約9割が喫煙者で、「たばこ病」ともいわれています。予防には、まず「禁煙」が必要です。

★早期発見・早期治療が重要  
 次の症状がある方は、軽く考えず呼吸器専門医にご相談ください。  
 ●階段の上り下りで息切れがする。  
 ●せきやたんが出る。  
 ●呼吸のたびにゼーゼー・ヒューヒューという。

問合せ すこやか支援課 健康増進係 **Tel** 69-2168 **Fax** 63-4085